

雑 桜 (わかざくら)

～南中校長室より～

平成 29 年度 NO.9

平成 29 年 12 月 1 日



Be Proud Of Us

先週から急に寒くなり一気に生駒山が色づきました。大きな行事が続いた 2 学期ですが、子どもたちの行事のたびに成長する姿に何度も感動を覚えました。さて、あっと言う間に、「師走」です。師走の語源は「12 月になると、家々で師（僧）を迎えて読経などの仏事を行うため、師が忙しく走り回ることから「師馳(しは)せ月」といったのを誤ったものだ」という説をはじめいくつかあると聞きます。いずれにしろ「忙しい」というイメージ、そして 2017 年のまとめの月です。

文化発表会 (生徒感想)

<1 年生>

- ・戦争はこわい。劇もしてみたいと思った。平和の大切さ、命の尊さが分かった。
- ・市竹先生のドラムが意外にうまくて面白かった。
- ・滝野先生が「ヤー」って大きな声で言ったので、とても盛り上がりました。剣道はやり方とか知らないけど途中で説明とかしてくれて、分かりやすかったです。たまに笑いがおきて、面白かったです。
- ・短い間だったけれど、班の皆で壁新聞やパワーポイントを作り、うまくまとめることができましたと思います。クイズでは面白さも含めて発表しました。舞台上で発表するのは緊張したけれど、無事に終わってよかったです。
- ・茶道部のお茶会は初めて行きましたが、すごくおいしくて来年も行きたいなと思えるようなお茶会でした。作法もきれいだし、お茶をたてている姿も見ましたが、順番を覚えていて巢ごいなと思いました。

<2 年生>

- ・世界には、きれいな水を飲めない人、学校に行けない人などが予想以上に多くてびっくりしました。少しのお金の寄付でも役に立てるということがよく分かりました。
- ・来年に行く修学旅行に向けてのことで、とてもいい一歩になったなと思った。私は「花」で、今まで触れてこなかった沖縄の歌を知ることができて良かった。沖縄の歌がとても良い歌だと分かり、沖縄に行くのがもっと楽しみになった。全校生徒に、この沖縄の歌の良さが伝わってほしいと思った。
- ・3 年生のモザイクアートはすごくきれいで大きかったです。来年作るのが大変そうだけど、今年よりすごいのでつくりたいです。
- ・沖縄らしい風景が 2 つ合わさっていて、すてきだと思いました。体育館が沖縄の空気に包まれたような気持ちになりました。ハイビスカスとジンベイザメが大きく描かれていて迫力がありません。

<3 年生>

- ・オリジナル T シャツめっちゃかわいかったです。リコーダーも上手で、歌もめっちゃよかったです！さすがやな、2 年生！って思いました。
- ・残り 2 つの本番の文化祭、すごく楽しく吹けました。先生方にも歌ったりおどったりしていただいて、本当に楽しかったし感謝の気持ちでいっぱいです。みんな楽しんで聞いてくれていてうれしかったしやりがいがありました。本当に楽しかったです！ありがとうございました！
- ・色を書き、紙をはり、たくさん時間がかかり、劇の方がよかったなと思うときもあったが、

完成したときは予想以上に達成感がありました。発表したときは「おおー」と声が聞こえてとてもうれしかった。

- ・練習はまずセリフを覚えるところからはじまり、なかなか覚えることが出来なかったけれど、本番では失敗することなくできて本当によかったです。3年生、この学年で劇ができてよかったです。

校内音楽会 (11月1日)

多くの保護者や地域の方々に来校、参観に来ていただきました。音楽発表会は、「さすが3年生」と思わせる合唱が披露されました。すばらしい3年生徒を「誇り」に感じました。とてもすてきでした。1,2年生も真剣に取り組んでくれました。来年に期待が持てます。

学校評議委員会 (11月1日)

○音楽会について

- ・舞台のモザイクアートが素晴らしかった。
- ・全ての生徒がしっかりとした姿勢で大きな声で歌っていた。ピアノ伴奏も素晴らしかった。男女のハーモニーのバランスがあればもっと音楽性が高まると思う。
- ・「率先垂範」先生方の合唱が良かった。伴奏をピアノでやったほうがあわせやすかったのではないかと思う。これが合唱だということを聞かせてあげて欲しい。
- ・保護者の参観が多く、学校の教育や行事に関心を持たれている。学校に対する期待と受け止めて欲しい。
- ・クラス紹介の時にその曲の背景や作曲者、作詞者の意図などの紹介があれば、深みが出る。
- ・感性豊かなこの時期に本物に接する機会や体験をすることが大切である。

○学力学習状況調査の結果から

- ・学習塾に通う生徒が多いが、なぜ、学校の授業だけで完結できないのかと思う。その為か、読書や復習の割合が少ない。
- ・先生方が忙しすぎて授業の準備に十分な時間が確保できていないのではないだろうか。
- ・子どもが覚えた知識や法則を利用して新たな価値を創造させるために「子どもが本質的に持っている学ぶ意欲や学ぶ力」を発揮させるべく授業改善が必要である。
- ・学校の規則の遵守、いじめは駄目と思う、人の役に立ちたい、と高率であるが、現実の世の中ではそうでないような気がする。
- ・自己肯定感や社会性は、子どもを育てる大人側の問題である。
- ・子どもたちはどんな将来を夢見ているのだろうか。
- ・豊かな社会を実現するためには教育は重要。教育は管理や評価をやるのではなく、もっと自由に豊かな人間性を追及すべきものである。
- ・親が子どもを褒めるタイミングと褒めるところの見極めが難しいが、自尊感情を育てるためにはもっともっと褒める意識を大人が持つことが大切である。

○その他

- ・生徒数の減少により生徒の一体感は見られるが、部活動等に支障をきたしている。校区割りの見直しが必要ではないか。

3年進路懇談会 (11月13日～15日)

進路に向けての懇談会、御苦労さまでした。夢と現実の挟間で、子どもも親も悩むところです。十分に家庭で相談して決定してください。また、不安や疑問があれば、学校へ連絡を下さい。大半の私立高校では「入学説明会」や「体験入学」を終了していますが、説明や体験入学を個別にしてくれる所もあります。問い合わせをしてみてください。奈良県で高校中退者年間500人程、その内高校1年生が過半数をしめるそうです。「高校に行けばいい」「高校に入ればいい」ではなく、「高校で何をするか」が大切です。

12月の三者懇談会では、私立高校については決定していかなければなりません。その時期から、入試関係の書類の担任との受け渡しが始まります。くれぐれも期限に遅れるようなことがないように家庭でのチェックもお願いします。一人の遅れが全体の遅れとなってしまいます。

2年職場体験（11月15日～17日）

14事業所等において、職場体験を実施しました。小平尾保育園での実習がインフルエンザにより會津生駒保育園に変わったり等、若干のトラブルはありましたが大火なく終了することができました。机上の学習では得ることのできないインパクトも感動もあったと思います。「苦しかったこと」「楽しかったこと」「達成感・充実感」「人間関係の大切さ」「親や保護者への感謝」等々、子どもたちにとっては、貴重な体験であったと思います。「どの子どもも仕事に熱心に取り組んでいた。」との報告を受けています。学校では見ることのできない「顔」にたくさん出会いました。今後の日々の生活に生かしてほしいと思います。

避難訓練（11月22日）

地震の発生から火災を想定した避難訓練を実施しました。緊急放送からグラウンドでの人員点呼が終わるまで、2年1組の2分38秒をトップに3年1組、2分50秒、3年2組、2分57秒、2年2組、3分09秒、1年1組、2組の3分15秒という結果でした。私語が少し気になりましたが、消防士さんからもお褒めの言葉を頂くほど早く動くことができました。その後、クラス代表が水消火器で消火訓練を実施しました。

生駒市公式 twitter

生駒市公式 twitter を利用して本校の取り組みの様子を掲載していきます。

<見方>

生駒市 HP を開く → 生駒市公式 twitter をクリック →
教育振興部（生駒市保育園、幼稚園、小中学校情報）をクリック

人（子ども）を育てる

「やってみせ、言って聞かせて、させてみて、ほめてやらねば人は動かじ。話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず。やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず。」

山本 五十六（やまもと いそろく、明治17年（1884年）4月4日 - 昭和18年（1943年）4月18日）は、大日本帝国海軍の軍人で、26、27代連合艦隊司令長官を務めた人物です。そんな彼の残した名言の中でもっとも有名な名言です。

「やってみせ」

人にものを教えるときは、まず自分が手本となって「相手に見せる」。あえて見せることが大切です。大切なのですが、これを省く人が結構多いのです。なぜなら、見せるのが面倒くさい、または一々見せなくてもいいからやりなさい！的な考えからです。この「やってみせ」という言葉の中には相手を尊重する意味もあります。

「言って聞かせて」

きちんと言葉で説明し、相手に聞かせることが大切です。ただ、やってみせて「はい。わかったでしょう。」「これこれこうやって、ほれやってみろ！」というのはいささか乱暴です。これも相手を尊重し、きちんと相手に伝わるように言葉を発し、そして相手に聞かせることが大事なのです。要は相手に伝わっているかどうか大切です。

「させてみて」

相手に理解させる、覚えさせるには、実際に「させてみる」ことが必要です。言葉や見せるだけで理解するのは無理がある場合があります。教育・指導の基本としては、まず説明して、そして実際に相手にさせることにより、更に理解が深まります。いろいろと説明を聞いて、

その時は何となくわかったような気になったり、逆に説明を聞いてもいまいちピンとこなかったり、そんな場合でも実際にやってみることによってしっかりと理解できることはよくあります。何事も経験や実体験がものを言います。

「ほめてやらねば」

相手を「ほめる」という行為は、教育・指導においてとても重要なことであり、その必要性は様々なところで言われています。しかし、一番おろそかにされやすいのが、この「ほめる」という行為です。ほめるという行為は、「相手を認める」ということであり、「それでいいのだ」「間違っていないよ」「ちゃんと出来てるよ」というようなことを、しっかりと相手に伝わればいいのではないかと思います。このほめる、相手を認める、ということにより、相手は自信を持って実行できるし、次に他のことにもチャレンジすることが出来ます。人に認められるということは、自尊心が満たされ、その後の自分自身の心の形成にも大きな影響をもたらします。

「人は動かじ」

人の教育とは教える側と教わる側との信頼関係がとても大切です。たとえ一方的に言い聞かせて、無理やりやらせたとしても、それはしぶしぶであったり、単に言われたことをやるだけになったりと、実は身になっていない場合が多々あります。教える側は、表面上は相手が理解して自分の言っていることをやっているように見えるかもしれませんが。しかし相手を尊重した教えをしていなければ、いつかは言うことを聞かなくなります。結局は上辺だけで、実際には相手を動かすことができていないことがあるということです。

「話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず」

「やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず」

この言葉の全てに共通するのは、「相手への尊重」です。

学校教育の根幹が揺らいでいる

「学校における働き方改革にご理解とご協力を！」

今年8月、中央教育審議会は「学校における働き方改革に係る緊急提言」をまとめました。この提言では教師の長時間勤務の実態が見過ごすことのできない状況にまで進行していて、授業や授業の準備に支障が出ていることが報告されました。（文科学省の最近の調査で、「過労死ライン」とみなされる月平均80時間以上の残業が中学校で約6割、小学校で約3割に達している。）

- タイムカードの導入
- 留守番電話の導入
- 長期休業中の休業日の設定
- 部活動の休養日の設定

など具体的な動きは県内でも出始めています。

1日、「学校評価アンケート」を子どもに渡します。お手数をおかけしますが、忌憚のないご意見をお聞かせ下さい。学校として「できる」ことについては、来年度の「方針」に積極的に取り入れ、改善を図っていきたいと思います。「学校アンケートをしてもらうにあたって」等を参考にしながら回答をお願いします。締切は15日です。よろしくお願いします。

学校カウンセラーの予定（12月）

岸田カウンセラー 1日（金）8日（金）15日（金）

川端カウンセラー 5日（火）19日（火）